

児童の実態

- 文章を正しく読めない。
- 語彙量が少ない。
- 言語を通して思考できない。
- 自分の言いたいことを伝えられない。

研究主題

国語を正しく理解する力を高める学習指導法の研究

国語を正しく理解する力

- 文章を読み取る力
- 言葉や文を理解する力
- 論理的に読み取る力
- 自分の思いや考えを言葉を通して考える力
- 自分の思いや考えを言葉に表す力

目指す児童像

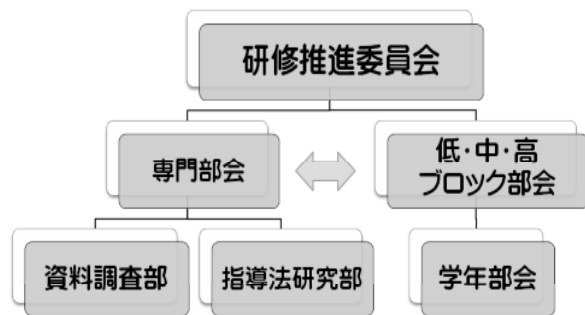
- しっかりした声で音読できる子
- 文章の内容が理解できる子
- 文章を読んで、自分の考えをもち、表現できる子

ブロックごとの目指す児童像

研究の仮説

音読や関連読書を重視し、読み取るために書いたり、ペアや全体で話し合ったりする活動を充実させれば、文章を正しく理解する力を育てることができるであろう。

研究の組織



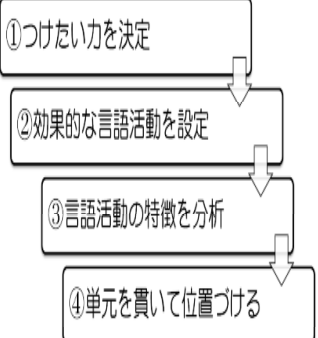
国語の力を育てる手立て



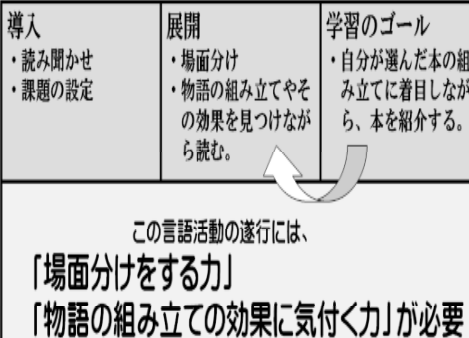
専門部の取り組み

資料調査部	指導法研究部
①意識調査 (アンケート実施と考察)	①言語活動例事例集の作成
②学力テストの考察	②読書 (ブックリストの作成等)
③視写 (提案と取り組みの考察)	③短作文(提案と考察)
④国語コーナー	
⑤ペア対話集 (作成と考察)	

I. 言語活動



単元を貫いて位置づける。



言語活動例

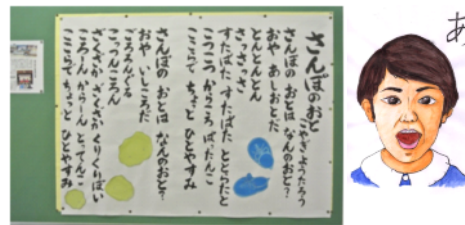
本単元で身に付けさせたい力	C 読むこと ◎ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読む力 ◎オ 物語を読んで感じたことや考えたことを発表し合い、友達との感じ方考え方の違いに気付く力
既習事項	白いぼうし(1学期) 場面の移り代わり注意しながら、登場人物の性格や気持ち、情景などについて読む。
単元を貫く言語活動	物語を読んで紹介する
学習のゴール	今西祐行さんの本を読んで、紹介する
単元を貫く学習課題	今西祐行さんの物語を読み、紹介して読みを伝え合おう。

手立てB 対話後の振り返り

- ①友達の考え・意見をノートやワークシートに赤鉛筆でつけ加えさせる。
- ②自己評価させる。 A→+A(自分の考えを発展)
A→B(友達の考え) A→C(新しい考え)
どんな対話話題が読みを深くするのか?

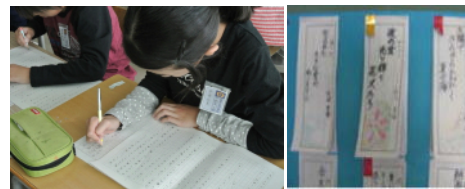
III. 音読

今月の詩
口形図
音読カード
狙いに応じた音読方法の工夫



IV. 書く

視写
短作文
国語コーナー
書く場面の設定



V. 読書

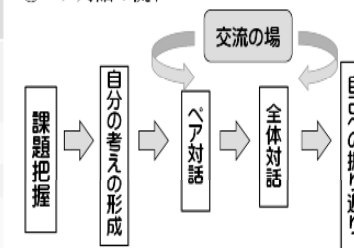
読書タイム
読書の木
親子読書
ブックリスト



II. 交流

①ペア交流において目指すこどもの姿

②ペア対話の流れ



③ペア交流の手立て

手立てA 金小対話の話し型の作成・活用

低学年	中学年	高学年
意見 思ったことや考えたことが言えたか	質問 相手の話を聞いて具体的に質問できたか	関連 相手の話を聞いて自分の考えを深めたり広げたりできたか
あいさつ 「はじめます。」 「おわります。」	質問 「~はどうですか。」	追加 「~というのもあると思います。」
意見・考え 「わたしは、~だと思えます。」	類似・相違 「似ていて~です。」 「違って~です。」	言い換え 「それは~と同じことだと思います。」

教科	単元名	対話話題(テーマ)	指導したい話し型
算数	面積の求め方を考えよう	平行四辺形の面積を求めよう	私の考えは、~です。理由は、~です。
体育	けがの予防	けがをした体験を発表しよう	私は~というけがを~でしました。原因は~です。
社会	水産業が盛んな静岡県	水揚げ量が急激に減ったわけを考えよう	私の考えは、~です。理由は、~です。
理科	種子の発芽と成長	子葉の役割は何か考えよう。	私は、~だと思います。理由は、~です。
音楽	5年 双頭の鷲の旗の下に(鑑賞)	好きなほうの曲を、友だちにおすすめしましょう。	わけは、~だからです。それは、なぜですか。好きな曲は同じですが、わけが違います。

2年生 国語の教科書にしようかいされている本
ぎん色のニコニコシールがついています

だいな	作者	本のばしょ		
		教室	図書室	風の子
チンパンジーとさかなどろぼう	ジョン・キラカ		○	
星と月の生まれた夜	D.グティエレス		○	
お月さまってどんなあじ?	マイケル・グレイニエツ		○	
こいぬがうまれるよ	ジョアンナ・コール		○	
とらとほしがき	バク・ジェヒョン		○	
こんなしっぽでなにをするの?	ステイブ・ジェンキンス / ロビン・ペイジ	○	○	
ねむりのはなし	ポール・シャワーズ		○	

低学年 好きなところ

- ・単元で習った読み取り方を活用して、楽しく読む。

中学年 同じテーマや作者

- ・テーマに沿って読み掛け、内容や構成のおもしろさに気付いて、楽しく読む。

高学年 作品の読み比べ

- ・読み比べを通して、作者の考えや文章表現の違いに気付いて、自分の考えを拡げたり、深めたりする。

授業づくりの視点

- ②単元を貫く言語活動を意識させる。
- ④本時の課題、対話話題のねらいをもつ。
- ⑥関連読書に取り組む。
- ①指導事項に基づいた学習活動を仕組む。
- ③音読にねらいをもって位置づける。
- ⑤ペア交流・全体の話し合いを行う。
- ⑦評価場面のイメージをもつ

研究の成果

- ・国語が好き、読書好きの児童が増えた。
- ・3達の達成率が92.1%から96.1%に上がった。
- ・叙述にそって心情を読み取る力がついた。
- ・音読や作文の力がついた。
- ・ペア交流で自分の伸びが実感でき、自分の考えをもって、話せるようになった。

課題

- ・自分の考えを表現することにまだ苦手意識を持っている児童がいる。
- ・観点別の「読む能力」の伸びが予想以下。(主に物語文に取り組んでいたためか)
- ・読書について、読む子と読まない子の差が出てきた。